

30人以下学級の早期実現を求める意見書

今日、子どもたちをめぐる事件、事故、いじめ、不登校など、子どもと教育をめぐる深刻な事態が続いています。

子どもたちも、慢性的な疲労感やストレスを抱える状況のなかで「授業がわからない」「学校が楽しくない」など、さまざまな声が上がっています。

このような教育問題の困難を解決するためには、教師がゆとりを持ってどの子にも目配り、気配りができるような学級運営が求められています。そのためにも、現状の40人学級を30人以下学級にしていくことは、緊急かつ最も重要な課題になっています。

1学級30人以下になれば、基礎的、基本的な学力を身につけさせ、子どもたちの疑問にこたえる、わかる授業に一步近づきます。子どもたちが認め合えるチャンスが増えます。

欧米諸国ではほとんどが1学級25人以下になっており、アメリカのクリントン大統領は「1学級22人から18人に」ということを呼びかけています。

一人ひとりの子どもたちは、父母にとっても、社会にとってもかけがえのない宝です。未来をになう子どもたちが、生き生きと心豊かに育つ社会環境をめざすためにも、1日も早く30人以下学級を実現させることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出します。

1999年6月28日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 文部大臣 大蔵大臣